

【 在宅医療専門部会 】

- 【開催状況】 第1回 平成30年5月22日（火）出席者 11人
 第2回 平成30年7月3日（火）出席者 11人
 第3回 平成30年12月11日（火）出席者 9人
 第4回 平成31年3月5日（火）出席者 13人

【平成30年度の取組の概要】

- 1 地域課題や部会としての取組について協議
 KJ法を用いて、課題事項の抽出を行い、「栄養」と「小児」に関する事項が今後の課題であると整理した。
- 2 北海道医療計画西胆振保健医療福祉圏域推進方針の内容について協議
 西胆振地域の取組を踏まえた評価指標を設定した。
- 3 「看取りに関する体制整備」
 - (1)「西胆振地域における高齢者施設における看取りに関する実態調査」の再調査(平成30年10月)過去に行った人材育成事業（施設等職員向けの研修会を「基礎編」、「実践編」、「管理者・リーダー編」として実施）の効果を確認する等の目的で、平成26年度行った同様調査の再調査を実施。
 - ・認知症共同生活介護事業所では、看取りに取り組む施設や件数の増加が確認され、人材育成の効果がみられた。
 - (2)「登別市在宅看護講座」看取りの普及啓発として登別市と共催
 - ・ワーキングを立ち上げ、登別市の協議・打合せを2回実施し、企画・準備をおこなった。
 - ・平成31年2月16日（土）開催 参加者217名
 - ・寸劇、終活ノートの説明、包括支援センター、訪問看護、在宅診療などの解説を行う内容は、登別市での在宅医療の現状や使えるサービスについての理解が深まるとともに、参加した住民が、最期をどこで過ごすかを考える機会となった。
- 4 「訪問リハビリ現状調査」平成30年8月現在の実績を調査
 - ・ワーキングを立ち上げ、調査内容の検討
 - ・16事業所が実施していることを確認した。
- 5 「栄養」に関する取組
 - (1) 歯科保健医療専門部会と合同でのワーキングを4回開催
 高齢者のフレイル（低栄養など）に対する取組みを協議して、以下の事業を推進している。
 - (2) 研修会の開催 平成30年1月19日（土）
 講演：『専門職による食支援の実際』
 栄養ケア・ステーション西胆振代表 川畑 盟子 先生
 北海道歯科衛生士会室蘭支部 中村 素代 先生
 北海道言語聴覚士会日胆支部支部長 佐々木 聡 先生
 事業説明「栄養・食事・歯科モデル事業」について
 基調講演『かかりつけ医の行う在宅医療・栄養管理について』
 北美原クリニック 院長 岡田 晋吾 先生

(3) 「栄養・食事・歯科モデル事業」の実施

- ・専門職の配置の少ない認知症共同生活介護事業所を対象に管理栄養士・歯科衛生士・言語聴覚士がチームを組んで、低栄養等の高齢者に対してアセスメントと2回の指導、最後に評価を行う事業を平成31年度に実施する。
- ・平成31年1月25日付けで事業実施の意向調査を行い、6か所から希望があったが、4か所程度に絞り実施予定
- ・同日、認知症対応型共同生活介護事業所に栄養に関する実態調査を実施し取りまとめ中

【部会の体制について】

- 1 第4回部会から、伊達以西の在宅医療の中核であるひじり在宅クリニック院長岡本先生（在宅療養支援診療所の選出）、在宅医療・介護連携支援センターを構成機関として新設し、山崎副センター長に参画いただき、体制を強化した。
- 2 今年度限りで、草場部会長が部会長を退任され、在宅療養支援診療所の構成員は岡本先生に交代となる。互選により、次期部会長は佐藤弘太郎先生の就任が決定した。

【今後の方向性】

- 1 「栄養・食事・歯科モデル事業」の実施
歯科専門部会と合同で、認知症対応型共同生活介護事業所に入居する高齢者にスクリーニングを行い、支援が必要な者を選定し、アセスメント、2回の指導、評価を行い、成果を取りまとめて報告書を作成し、地域関係者に還元する。
- 2 「栄養」に関する取組として、管内市町で把握している一般高齢者の介護予防チェックリストの栄養・口腔に該当した件数について照会を予定している。
- 3 看取りに関する体制整備
平成30年度に取り組んだ高齢者施設における看取りに関する実態調査の結果を踏まえ、施設の規模や状況に合わせて当部会でのサポートを検討する。